

## 2019年度事業計画

特定非営利活動法人相模原ボランティア協会

### 《事業計画概要》

当協会は、1981年に任意団体として活動を開始し、本年で39年目に入ります。2003年度に特定非営利活動法人となり、2013年度には認定非営利法人の認証を受け現在も継続中です。これからの少子高齢化社会における「協会の役割」や「協会らしい活動」については総合企画委員会を中心に探究していきます。

事業については、ハンディキャブ（HC）事業や傾聴活動についても利用者の立場に立って活動していきます。そして「市民による市民のための地域福祉向上」を目標に「主体性」、「協働」の理念を持って、相模原市、市社会福祉協議会、その他あらゆる団体と協働して“ほかほかふれあいフェスタ”、“新春ボウリング大会”、ボランティア養成講座等を開催します。さらに「協会らしい」活動として、若者の就労支援、高齢者の住まい探しサポーター活動、家具転倒防止のための活動等を進めていきます。又、相模原災害ボランティアネットワークに加盟し活動していますが、大規模災害等の場合の当協会の対応についても独自に検討する必要があります。情報発信活動については、ぼらんていあ通信、ホームページ、季刊誌わくわくなどで会員の皆様や利用者の方々にもわかりやすい情報を発信していきます。財政面については、認定特定非営利活動法人の税制の優遇措置を利用した寄付募集の促進、イベントでのバザーの展開、協賛団体の獲得、切手グループ等の寄付なども重要な要素です。

これからの運営に当たっては、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 《事業内容》

#### 1. 高齢者、障がい者への援助活動

##### (1) HC運行事業

「福祉有償運送」の登録団体である当協会は、福祉車両2台およびセダン型11台による単独では外出困難な方のための福祉移送援助事業を行っていますが、ボランティアの高齢化に対応すべく運転ボランティアに対して無償運送を報償とするポイント制度を設ける等の施策を行います。また福祉車両の老朽化に対応するため更新すべく再再度日本財団への補助申請を行います。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・実施場所 相模原市内及び周辺地域（あじさい会館を起点として30Km以内）
- ・従事者 当協会会員  
年間総数は延べ約1,300名を見込みます。
- ・対象者 市内（旧市域）の障がい者、高齢者、延べ1,700名を見込みます。
- ・支出見込 交通費、燃料費、車両維持費、活動旅費、駐車場利用料等

合計 2,514,000円

（なお、引き続き「かながわ福祉移動サービスネットワーク」に加盟します。）

##### (2) 高齢者への傾聴ボランティア活動

2014年から始めた居宅訪問型の高齢者の傾聴ボランティア活動は、市社協南ボランティアセンターを中心として活動してきましたが、2018年度より活動を中央区や緑区へと拡大し、順調に推移しています。

これからの高齢化の進行に伴い介護保険制度のひっ迫が懸念されています。この無償の傾聴ボランティア活動により高齢者が元気になり、介護度の改善に繋がって行くとすれば一石二鳥です。2018年度より新たに設けた傾聴委員会においては情報交換を大切に、傾聴のあり方を見つめ直すことに努めます。

- ・実施時期 年間を通じ実施します。
- ・対象者 独り暮らしの高齢者を対象とし、中央区・緑区への拡大を図ります。

- ・実施場所 原則として居宅へ訪問します。
- ・従事者 当協会員を派遣します。
- ・支出見込 交通費、研修費他として **152,000 円**

### (3) ボランティア団体とのネットワークづくりと交流事業等

#### (イ) ほかほかふれあいフェスタ2019の開催

障がい者、ボランティア、市民との交流行事「ほかほかふれあいフェスタ2019」を開催し、相互理解の機会とします。(実行委員会参加方式)

- ・実施時期 10月12日(土)及び12月7日(土)(街頭キャンペーン)の日程で実施します。
- ・実施場所 10月はあじさい会館とウェルネスさがみはら前広場で、12月はサンデッキ相模大野で開催予定です。
- ・従事者 障がい者などの当事者団体との実行委員会形式とし、さらに当日参加のボランティアを募る方式です。当協会員の参加は50名を予定します。又、相模原市、市教育委員会、市社会福祉協議会、市社会福祉事業団の後援を予定します。
- ・対象者 市内の障がい児者、一般市民を対象とし1,500名の当日参加を見込みます。
- ・支出見込 実行委員会形式のため、分担金方式となります。当法人は **50,000 円**の支出を予定します。

#### (ロ) 障がい児者とのボウリング大会

障がい児者との交流ボウリング大会を開催します。(理事会、実行委員会)

- ・実施時期 2月に開催します。
- ・実施場所 市内のパークレーンズ様のご厚意によりレーンの無償提供を予定します。
- ・従事者 ボランティアや当事者団体との実行委員会形式とし、当協会の参加は約10名とします。
- ・対象者 障がい児者、家族、付き添い、ボランティアで約80名を予定します。
- ・支出見込 **48,000 円**

#### (ハ) その他援助事業

相模原市社会福祉協議会ボランティアセンターと協働して、小地域では対応が難しい障がい者、高齢者等のニーズの発見と対応に努めるとともに、家具転倒防止、外出援助、訓練介助、保育、行事援助等のボランティア派遣を行います。また、ボランティア活動機会の増加のために“いるかバンク制度”の活用を行います。

さらに、当協会では“人との交わりが苦手な若者”を受け入れ、社会体験や人との交流体験の場を提供する就労支援や「高齢者を対象とした住まい探しサポート事業」に協力してきました。今年度もこれらの活動を継続してまいります。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・対象者 障がい者、高齢者
- ・実施場所 相模原市及び周辺地域
- ・実施者 当会の会員を派遣します。

## 2. ボランティア養成に関する活動

当協会の基本精神である「市民による市民のための地域福祉向上」のために、ともに取り組む仲間づくり役に役立つことを目的とします。ボランティア活動、高齢者や障害について広く学ぶ「基礎講座」と市内のボランティア団体等と協働実施する各種の「コース別講座」とで構成します。春には、ボランティア入門講座を別途企画実施します。

#### 【ボランティア養成講座 基礎・コース別講座】

- ・実施時期 7月6日、13日、20日（各土曜日）
- ・実施場所 あじさい会館および周辺の施設
- ・従事者 講座実行委員会として、市内のボランティア団体の協力を得ながら、各講座を開催します。
- ・対象者 主として相模原市に在住、在勤の者を対象とし、基礎講座はほぼ1回について、70名程度の参加を、コース別については6コースを用意し、それぞれ10名程度の参加を見込みます。
- ・支出見込 **183,000 円**

#### 【ボランティア入門編講座】

- ・実施時期 ボランティア入門講座は2月～3月に開始します。
- ・実施場所 あじさい会館および周辺の施設を予定します。
- ・従事者 別途設置する講座検討委員会の企画により、市内の福祉施設やボランティア団体の協力を得ながら講座を開催します。
- ・対象者 主として相模原市に在住、在勤者を対象とし、ほぼ30名程度の参加を見込みます。
- ・支出見込 **105,000 円**

### 3. 情報発信に係る事業

#### (1) ぼらんていあ通信の発行（広報委員会ぼら通部会）

当協会の広報誌としての役目を担う「ぼらんていあ通信」を毎月発行します。ぼらんていあ通信は協会活動の予告や報告を掲載するほか、当協会や地域で活動しているボランティア団体の情報、各種ボランティアグループの状況をできるだけ採り上げ、協会員以外の団体・機関でも閲覧いただき、身近なボランティア活動の広報誌として活用できる楽しいものにします。

- ・実施時期 当協会の機関紙として毎月発行します。
- ・配布先 会員への郵送を原則としますが、市内の学校、公民館、福祉施設、協賛企業などにも無料で配布します。また、ホームページにも掲載します。
- ・従事者 1回の編集につき、それぞれ担当者数人が関わる予定です。
- ・支出見込 ぼらんていあ通信発行費として **325,000 円**

#### (2) ホームページの公開（広報委員会情報部会）

協会ホームページの更新を行い、市民への情報発信に努めます。また、事務局と会員間及び会員相互間の通信手段として活用できるよう内容充実に努めます。

- ・実施時期 当協会のホームページを逐次充実させ、内容の更新を図っていきます。
- ・従事者 更新担当者数名が関与します。
- ・対象者 ホームページ閲覧者であり、月に1,000人規模を見込んでいます。
- ・支出見込 回線サーバ使用料、メンテナンス費用として **24,000 円**

#### (3) ボランティア情報誌の発行（広報委員会わくわく部会）

ボランティア情報誌「わくわく」は、ボランティアに関連する情報、地域の話、制度の紹介、特定のテーマの掘り下げなど楽しい読み物として親しまれるものを目指します。

- ・実施時期 年間4回（季刊）発行
- ・配布先 約300部を制作し、希望する会員や関係者へ配布します。
- ・従事者 制作担当者数名が関与します。
- ・支出見込 取材、印刷などの費用として **60,000 円**

#### 4. 相模原市、市社会福祉協議会等の事業への参加及びボランティア団体との交流

##### (1) 若葉まつり

相模原市民若葉まつりにはパレードへの参加、福祉バザー及びふれあいふくしコーナーの模擬店の出店を行います。

- ・支出見込 参加分担金等 20,000 円

##### (2) 市社会福祉協議会への加盟

市社会福祉協議会へは引き続き加盟します。

- ・支出見込 年間 5,000 円

##### (3) 東林まつり等の地域福祉祭り

市社協南ボランティアセンターの開催するお祭り等に参加します。

- ・実施場所 東林公民館等

##### (4) 相模原災害ボランティアネットワーク (SSV)

当該団体の運営委員として、行政、他地域関連、防災訓練等に係わっています。

- ・実施場所 毎月あじさい会館、その他。
- ・支払見込 年会費 3,000 円

#### 5. その他活動

##### (1) 法人運営、法人運営事務及びHC運行調整事務のための活動

当協会の運営が円滑に進められるよう理事会、各委員会等を定期的に行います。事務局においては法人運営のための庶務部門とHC調整部門があります。これからも事務局員の研修等事務局機能の改善・強化を図ります。

- ・支出見込 総会費、委員会交通費、研修講習費、事務局運営費として 705,000 円

##### (2) 財源確保のための活動

認定NPO法人制度による税制の優遇措置のPRに努めるほか、賛助会員の募集を行い、活動財源の確保を目指します。

- ① 認定NPO法人の税制優遇措置制度を活用した募金活動
- ② 市民まつり、ほかほかふれあいフェスタにおけるバザー、模擬店出店
- ③ その他の機会をとらえてのバザー、模擬店出店など
- ④ 使用済みテレカや切手などの収集
- ⑤ イオングループ主催の幸せの黄色いレシートキャンペーン参加
- ⑥ 月刊誌や機関誌を利用した企業などの会社記事協賛など

- ・収入目標額 820,000 円

##### (3) 会員交流会

会員相互の交流やコミュニケーションの活性化を目標に、親睦会や会員向けの研修など意見交換の機会を設けます。

- ・支出見込 10,000 円